

恵星幼稚園 自己評価一覧 (2016年度)

2017年2月2日実施

I 教育内容 A:よくできている B:だいたいできている C:あまりできていない D:できていない

内 容		評価	見 解
保育の計画・実施	園の教育理念や教育方針が明文化され、保護者や対外的に公開されている。	A	毎年、園の要覧の内容を精査している。保護者に繰り返し目を通して頂くよう更にお願する。
	園の教育課程が自園の教育理念に基づき、教育要領の精神を踏まえて構成されている。	A	年度後半からのカリキュラム配布により非常勤教諭が保育への見直しを持ちやすくなり自己評価が改善した。
	園児の生活が豊かになるような行事を、園児の実態に合わせて精選している。	A	一つ一つの行事のねらいを、毎年話し合い、より良いものを目指し話し合いを重ねている。行事ごとの反省は次年度によく生かされているので、日常保育の反省を共有できるよう努める。
	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づいて指導計画の見直しを行っている。	B	
	個々の行事は園児の発達を考えながら実施し、園児の実態や狙い等について教職員と十分に話し合いを行っている。	B	昨年度までのクラス、学年ごとの個別の保育計画を、今年度9月から園共通のカリキュラムや日誌を作成していることで、週案や日案が立てやすく見直しもしやすくなり、昨年より自己評価が上がった。・会議に出席できない延長担当教諭と理解を深め合う時間を確保していきたい。また、学年ごとの活動を年度初めに常勤教諭が計画を立てるようにしたい。
教職員体制の充実	園の教育理念や方針を教職員がきちんと理解している。	B	
	園の教育理念や教育方針を教職員が共通理解をするための取り組みを行っている。	B	
	個々の園児について教職員で話し合う場を、定期的かつ必要に応じて持つことができている。	A	会議では、配慮の必要な園児について様々な意見や試行錯誤がなされているが、全園児に対して計画的に協議を進めては？(日程や園児を決めて)
	教師間で互いの保育について話し合い、評価・反省をして次の保育に生かすことができるような体制があり、実施できている。	A	
教育内容の充実	園児が安全で心地よく過ごすことができる環境を提供できるよう心がけている。	B	今年度から設置された登り棒により、「登る」活動が確実に保障され、運動能力を伸ばしている。安全な場所でもケガをすることはあるので、引き続き配慮する。またできるだけ広いスペースでリズム体操などできるようにスペースを確保し、同時に行う人数を少なくする。
	園児がそれぞれの興味や関心・能力に応じて、全身を使って活動できるようにしている。	B	
	園児を温かく受け入れる環境をつくり、人とかかわる力が育つような配慮をしている。	A	日常の動き(走ったり転んだり)をどの子も活発にし、食育と合わせてより強くしなやかな身体づくりを心掛ける。
	園児が様々な活動や体験をするよう努めている。	A	子ども同士でのケガを水際で防止することも引き続き必要だが、時間や空間、人的環境にゆとりを持つことで安心感を持って過ごせるよう配慮したい。
	園児が生命を尊重する心、身近な自然、社会と関わるができるように配慮している。	B	
	園児が言葉で伝えたいような体験をもつことができる環境を整え、伝え合う喜びを味わったり、言葉に対する感性が養われたりするように配慮している。	B	
	園児が生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れられるような環境の工夫をしている。	B	
	園児が様々な表現を楽しみ、自己表現する意欲を十分発揮させることができるよう努めている。	B	
研修や研究	園内研修などを企画し、研修の内容が自園の教育理念に沿った形で日々の保育に生かせるようにしている。	C	個人的なテーマや園共通のテーマ設定が毎年先送りになっているので、特に園内研修のテーマを提案して他学年や他クラスと共有できるようにする。今後は縦割り保育での具体的な手立てを研修し実践に繋げていく。
	教育内容の質の向上や改善のための取り組みを教職員がともに行っている。	A	
	教職員の資質向上のために公的機関などが開催する研修会に参加する努力をしている。	A	
	個々の教職員が自分の課題を把握し、その課題を達成できるように努めている。	B	
	自園のテーマや重点項目等を決め、継続的に話し合いを行っている。	B	来年度の園内研修テーマを縦割りクラスでのより豊かな実践とし、ビデオ撮影や協議事項を計画的に準備する。

II 地域の教示教育センターとしての役割

内 容		評価	自由に記述
支援	未就園児が親子で登園する日を設けたり、子育て相談を受けたりするなど、地域の子育て支援のための取り組みを行っている。	A	子育て支援は、担当教諭や支援員が良く対応し保護者の信頼も厚いように感じている。次年度からは年間計画の段階から園全体で考えるようにした。
教育相談	在園児の保護者からの教育に関する相談を受けている。	B	在園児の保護者からの相談は多く個別にきめ細かく対応していると職員は感じているが、保護者アンケートを通して、自分からは言い出しにくい方もおられることを念頭に置き、皆さんへの配慮を一層心掛けたい。
	児童相談所や病院等の専門機関に相談や連携ができる体制が整っている。	B	
預り保育	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。	A	今年度延長担当教諭を増員したことが担任業務の強化につながった。また、正規の保育時間中より自由度の高いゆったりした時間を延長利用の園児に提供できている。
	預かり保育を担当する教師の体制を整えている。	A	

III. 安全管理

内 容		評価	自由に記述
施設・設備・園児に対する安全対策	幼稚園設置基準第7条(一般基準)をふまえ、幼稚園の施設・設備を安全で適切な状態にしている。	A	懸案だった門扉の施錠が実現し、職員も安心感が増した。保護者からも安心できると評価が高くなった。 園庭整備は排水溝の掃除や遊具の点検が習慣づいてきた。夏休みに滑り台や三角ポールの補修を行うことができた。毎月の点検を引き続き行う。 安全面は年々強化改善されているが、衛生面(整理整頓・掃除等)での努力が必要。 各自がマニュアルを定期的に確認し、緊急時に自然に反応できるようにしたい。
	幼稚園施設整備指針第8条(防犯計画)に基づき、ハード・ソフト両面から適切な防犯体制を整えている。	A	
	地震などの自然災害に対する防災対策を行っている。	B	
	施設・設備・遊具等の状況を時々写真等で記録している。(震災等の際の現状確認のため)	A	
	施設・設備・遊具の安全管理のため定期的に点検を行っている。	A	
	消防法第4条に基づき、消防職員の立ち入り検査を受けている。	A	
	消防法第8条に基づき、防火管理者を定めて防火管理を行っている。	A	
	消防法第17条に基づき、消防用設備等を設置し、維持管理を行っている。	A	
	幼稚園施設整備指針をふまえ、安全管理・衛生管理に努めている。	B	
	事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	B	
緊急時に相互連絡をとれる体制が整っている。	A		
衛生	園児の健康診断を実施している。	A	今年度はインフルエンザ等が地域で流行しても、園内での感染者が少ない時期が長かった。
	教職員の健康診断を実施している。	A	
	伝染病予防(出席停止、臨時休業等)に適切に対応している。	A	

IV. その他

内 容		評価	自由に記述
	実習生を受け入れるにあたって、受け入れの意義や方針を全職員が理解し、実習担当者も決めている。	A	行政からのアドバイスや通達を随時共有するようにしているが、非常勤の共有まで浸透していないので、情報共有に努める。
	施設給付型幼稚園の役割を果たすために必要な地域の関係機関などの情報を収集し、それを職員が共有している。	C	